

虎姫学園（後期課程）校舎外壁等改修工事設計業務委託仕様書

1 委託番号： 令和 5 年度 教総委第 63 号

2 委託名称： 虎姫学園（後期課程）校舎外壁等改修工事設計業務委託

3 委託期間： 契約締結日の翌日から令和 6 年 3 月 15 日まで

4 改修場所： 長浜市五村

5 敷地概要： 敷地面積：19,253 m²

用途地域：第 2 種中高層住居専用地域、建蔽率 60%、容積率 200%、
指定無、建蔽率 70%、容積率 200%

垂直積雪量：150 c m

6 用途： 学校

7 建物概要： 虎姫学園（後期課程）

	構造	延べ面積	竣工年
普通特別教室棟	RC 造 3 階建て	2,080 m ²	昭和 48 年
特別教室棟	RC 造 3 階建て	1,171 m ²	平成 14 年
合計		3,251 m ²	

8 業務概要：校舎の屋上及び外壁が経年劣化による雨漏れやクラック等の不具合が発生しており、建物外装について全面的に改修を行うための設計を行うものとする。

なお、耐力度調査を行った結果、耐力度点数が 4,500 点以下の場合には、外壁等改修工事設計は行わず契約変更（減額）を行うものとする。

また、契約変更金額については発注者の積算金額によるものとする。

9 設計委託範囲：

（1）現況調査（既存建物調査）

ア．屋上及び外壁等について現況の調査を行い、劣化等の不具合について報告書を作成すること。現況調査及びその他必要な調査は、市担当者及び関係者と協議・打合せを行うこと。

イ．外壁塗装等のアスベストの分析調査（6 検体）を行う。分析調査に係る費用は受注者の負担とする。

（２）実施設計

市担当職員と協議の上、改修工事範囲及び仕上げ等を設定し、下記の設計図書を作成すること。（図面は全て CAD にて作成し、合成は不可とする。）

また、建物の長期使用を考慮した材料の選定や工法を提案するとともに、工事中における仮設計画・安全対策等を十分に配慮し、図面に反映させること。

ア．建築工事設計図書（現況図、改修図）

表紙、図面リスト、特記仕様書、位置図、配置図、仮設計画面図、外部仕上表、平面図、立面図、断面詳細図、軒天井伏図、部分詳細図

イ．積算書

積算ソフトへの設計項目の入力、数量調書の作成、見積徴収、見積比較資料の作成、代価表等の作成を行う。

積算ソフトは営繕積算システム RIBC2（（財）建築コスト管理システム研究所）を使用し、市から提供する単価を入力すること。市から提供する単価が無い場合は、刊行物または見積徴収等による単価を入力すること。

概算工事費の算出にあたっては、刊行物等の市場単価を入力し、工事費の算出を行うこと。（EXCEL でも可）

（３）耐力度調査

ア．業務内容

対象建築物の耐力度調査を実施し、その結果に基づき調査票を作成し報告する。

イ．調査対象建物

普通特別教室棟、特別教室棟

ウ．調査方法

「公立学校建物の耐力度調査実施要領（平成 14 年 3 月 27 日文部科学省）」に基づく。

調査の実施方法については、既存鉄筋コンクリート造・鉄筋造学校建物の耐力度測定方法編集委員会編集の「既存鉄筋コンクリート造・鉄骨造学校建物の耐力度測定方法」（改訂版）による。

エ．耐力度調査に係る留意事項

- ①業務の着手にあたって、工程表ならびに実施計画書を作成し、監督職員の承諾を得てから着手すること。
- ②業務の実施にあたっては、生徒の安全確保や授業の妨げとならないよう学園と連絡を密にし、十分な協議の上実施すること。

- ③業務期間内において、適宜、業務の遂行状況等を報告すること。
- ④本業務で知り得た情報等は、他に漏らしてはならない。
- ⑤その他、疑義が生じた場合は、速やかに監督職員に連絡し、指示を受けること。
- ⑥調査者は、一級建築士資格を有する者で、（社）文教施設協会の主催する「既存鉄筋コンクリート造・鉄骨造学校建物の耐力度測定方法実務講習会」受講修了者等、学校建物の耐力度調査についての内容を理解しており、適切に診断できる者であることが望ましい。
- ⑦躯体コンクリートのコアを採取（各棟6本で計12本）し、公的試験機関において圧縮強度試験及び中性化試験を行い、普通特別教室棟については平成18年度に実施した耐震診断の結果と比較し、建物の劣化が進行していないかを評価する。コア採取部分の復旧は、無収縮モルタルの充填・塗装仕上げとすること。

オ. 耐力度調査報告書

- ①耐力度調査票（計算条件、計算書含む）、及び適用法令、規準一覧・考察書
- ②関係設計図面等（位置図、各階平面図、立面図、断面図、基礎伏図、各階伏図、基礎リスト、部材リスト、軸組図）

カ. 滋賀県教育委員会への報告

長浜市の担当者（監督職員等）に同行し、滋賀県教育委員会の担当者に調査結果等について説明すること。なお、構造耐力についての説明は、必ず、構造担当者が同行すること。

（４）その他の事項

- ①本設計業務委託は、建築士法による建築士の業務に基づき全責任をもって設計するもので、関係法令及びこれに基づく条例規則等の規定・各標準仕様書・本仕様書及び契約書を遵守し業務を行うものとする。
- ②契約後、速やかに委託業務着手届、委託業務担当者届（経歴書・資格証等を添付すること）、協力会社届、設計工程表を提出し、担当職員の承諾を得ること。
- ③委託期間中及び及び終了後も、本業務の成果品についての説明を求められたときは、担当職員の指示に従い説明を行うこと。
- ④本設計業務委託は、学校施設環境改善交付金を活用するため、同交付金対象事業ごとの対象経費と対象外経費を区分した経費区分内訳明細書、対象範囲と対象外範囲を色分け明示した経費区分明示設計図を別途作成すること。

⑤本委託業務に必要なものとして、次のものを貸与することができる。

貸与品等	適用
既存建築物設計図書等一式	
CADデータ（12条報告）	配置図、平面図、立面図
建築工事基準単価表データ	建築、電気、機械

10 成 果 品 :

成果品名	仕 様	提出 部数
設 計 図	製本 A1版二折り	1
	縮小製本 A3版二折り	2
	CADデータ(DVD-Rにて提出)	1
	PDFデータ(DVD-Rにて提出)	1
	(A1サイズ、600dpi)	
設 計 書	工事費内訳書	1
	同上「RIBC2」のデータ	1
	数量調書	1
	単価根拠(代価表・見積書・同比較表等)	1
	同上 Microsoft 社 Excel 等のデータ	1
	概算工事費内訳書	1
耐力度調査 報告書	製本 A4版	1
	CADデータ(DVD-Rにて提出)	1
	PDFデータ(DVD-Rにて提出)	1
協 議 録	設計打合せ記録	1
そ の 他	調査結果報告書	1
	現地調査写真	1
	その他担当職員が指示したもの	1